投　稿　規　定

投　稿　資　格：投稿者は、本院職員及び連絡会の認める者とする。

投稿の種類・内容：本誌には原則として、原著（他雑誌未掲載のもの）、短報、CPCの記録、学会発表、院内研究の業績及び統計・経理を掲載する。用語は、和文または英文とする。

投稿の仕方：**原稿1部とコピー1部**（図表を含めて）を提出する。紙の原稿とともに、現行の内容を記録した**Microsoft Office Word. Excel 又は PowerPoint のファイル**を提出すること。

執筆要領（原著論文）：原稿の各ページに**通し番号**を付し、**1枚目**に和文表題、英文表題、著者名、所属、キーワード、1ページ文字数を、**2枚目**に和文要旨を記載し、**3枚目**から本文、**参考文献**を順次記載し、図表・写真を別に添付する。和文の句読点は「、。」に統一する。

①原　　稿：原則として**8000字以内、図表10枚以内**とする。原稿はA4版で作成する。

②表題、著者名、所属：和文表題には、英文表記も併記することが望ましい。

所属、氏名の記載例　磐田市立総合病院内科[1)]，同外科[2)]，浜松医科大学第1外科[3)]
寺田　○○[1)]　古谷　○○[1)]　北村　○○[2)]　鈴木　○○[2)]
吉田　○○[3)]

③キーワード：日本語または英語で3語以内。

④要　　旨：英文（200語以内）が望ましい。英文要旨のタイトルはAbstractとする。和文の場合は400字以内。

⑤本　　文：原著では、**「はじめに、対象と方法、結果、考察、結語」**、症例報告は、**「はじめに、症例、考察、結語」**の見出しをつける。

⑥参考文献：**「参考文献」**の記載は引用順とし、本文中の引用箇所に順次に**右肩番号を付す**こと。
例：1)　2,3)　1～5)
著者名は3名まで記載し、4名以降は「他」、「et al」とする。引用文献は20前後とする。

〈雑誌の場合〉
文献番号）著者名：論文表題．雑誌名（略称で）　巻数：初頁～終頁、発行年（西暦）．

例1）Burk JS, Butler JJ：Malignant lymphoma with a high content of epithelioid histiocytes (Lennert' s lymphoma) . Am J Clin Pathol 66：1-9, 1976.

例2）佐藤久芳、野水　整、二瓶光博、他：消化管平滑筋芽細胞腫の2例 ― 本邦報告218例の検討 ―. 日臨外会誌 48：12036-2040, 1985.

〈単行本の場合〉
文献番号）著者名：論文（または章）表題．書籍名、巻（または版数）、出版社名、発行他、初頁一終頁、発行年（西暦）．

例3）McCaugh WTE, Kannerstein M, Churg J, et al：Tumors and pseudotmors of the serous membranes. Atlas of Tumor Pathology, 2nd series, Armed Forces Institute of Palhology, Washington DC, 20-72, 1985.

例4）杉村　隆：分化異常としての癌細胞の理解・癌（東京大学医科学研究所学友会編）、文光堂，東京，17-32, 1975.

⑦図表とその表題：
図表・写真は原則としてモノクローム（白黒）とし、**図○、表○として一連番号**を付け、各々に**タイトル**（必要なら説明文も）をつける。写真は手札型（13㎝×9㎝）の大きさにプリントしてデジタルデータともに提出する。

そ　の　他：
① 原稿の採否ならびに掲載順序は、連絡会が決定する。各部署のレビューアーを連絡会が指名する。
② 校正は原則として著者が行う。著者校正は1回とする。最終の校正を連絡会が行う。
③ 原著の著者には別刷を20部まで提供する。それを越える部数を希望する場合は、50部単位で連絡会を通じ有料で印刷業者に依頼できる。
④ 業績、統計資料は発行前年度のものに限る。
⑤ 原稿は返却されない。

その他詳細は、連絡会にお問い合わせください。

2024年12月　磐田市立総合病院病院誌連絡会

Presented by Medical*Online